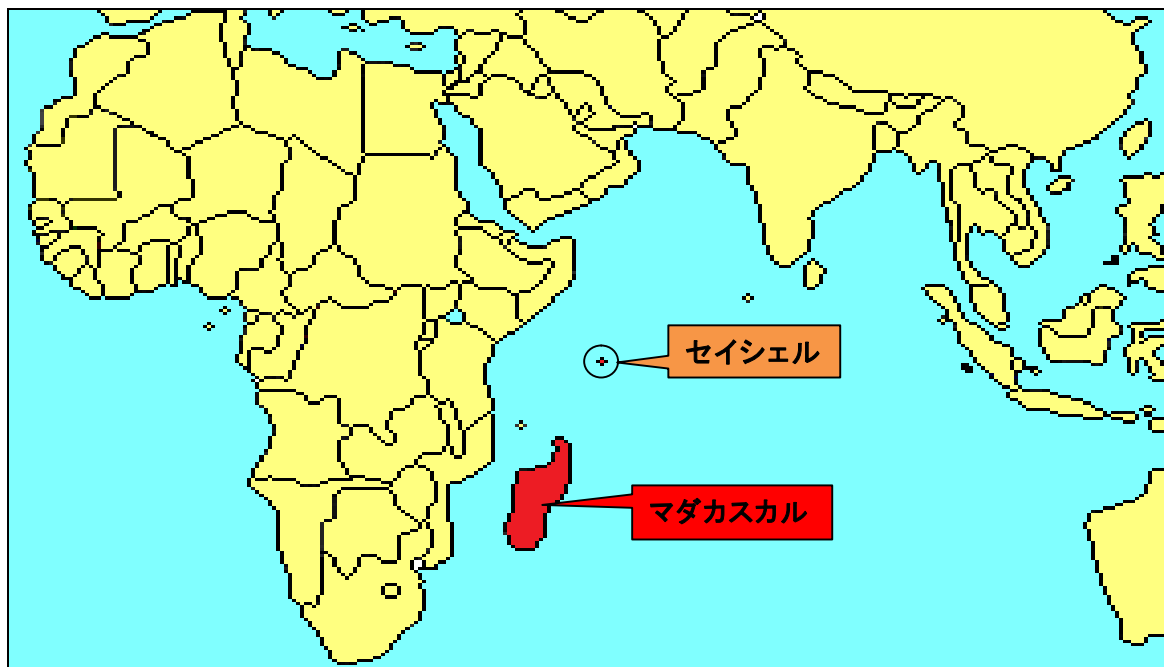


マダガスカルとセイシエルでチクングニア熱が発生

2011年4月21日 ProMED 情報 (Midi Madagasikara)



マダガスカルとセイシエルで、数名のチクングニア熱患者が報告されました。Grand Isle (マヘ島 Mahé Island?) では、患者 4 名が確定診断され疑い患者 102 名が発生しています。熱帯病が流行しやすいこの時期は、ヒトスジシマカ *Aedes abopictus* によって伝播するチクングニアウイルスの感染の危険性があります。セイシエルでは、最近の 2、3 週間で蚊に刺されこの病気にかかった患者が増加したことから、住民は警戒しています。患者が再び発生したことから、インド洋疫学調査機関(CIRE)は、チクングニアウイルスの再流行が発生することはあり得ると考えています。過去数週間の気象条件は蚊の繁殖を引き起こしています。

インド洋の島々を訪れる旅行者は、注意を怠ることなく予防対策をとる必要があります。地元住民は少なくとも 1 週間に 1 回程度、豪雨の後に、家の周りの溜まり水の除去をするように勧告されています。頭痛、筋肉痛、吐き気、発疹などの症状があれば、医師に診てもらおうよう強く勧告されています。

[ProMED 調整者]マダガスカルでは、ここ数年患者が周期的に発生していますが、セイシエルでは、2006 年に患者約 2,000 名が報告されてから発生していませんでした。